

OKINAWA.

2010年沖縄国際カーニバル INTERNATIONAL CARNIVAL

第18航空団広報局



11月27日、「沖縄国際カーニバル2010」が沖縄市コザ ゲート通りを中心を開催され、今年も嘉手納基地内から大勢の人々が会場を訪れました。第18任務支援群司令官のラフティール・コンスタンティーン大佐と第18航空団広報局長のクリストファー・アンダーソン少佐は、開会式及びコザ絵巻パレードに参加。同日、夕方行われた国際大綱引きには、去年に引き続き「ACE」(Airmen Committed to Excellence高志航空兵の会)から約200名のボランティアが、地元の方々と共に、大綱の移動を手伝いました。祭りの一週間前には嘉手納基地のボランティア約50名が綱作りを手伝い、地元の人々と一緒に、大綱を完成させました。

国際大綱引き会場で、先ず、沖縄国際カーニバル実行委員会の仲村富吉委員長の挨拶、第18航空団司令官のケネス・ウィルズバック准将の挨拶が続きました。1回目の綱引きは、日米の児童が参加し、基地内から多くのチビッコたちが綱を引きました。2回目、3回目の綱引きには日米の大人が、東側（胡屋十字路側）と西側（嘉手納基地第2ゲート側）に分かれ綱を引きました。結果は引き分けに終わり、勝敗をつけるため異例の4回目の綱引きとなり、東側チームが接戦を制しました。

(カーニバル当日の写真全て、米空軍：ジェイソン・エドワーズ等軍曹)



ハロウィーン仮装で老人ホーム「いえしま」を訪問

第18航空団広報局

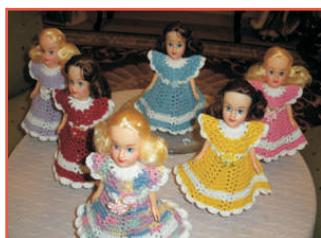


(写真提供：第18兵站即応中隊)

2010年10月30日、第18兵站即応中隊の隊員とその家族23名が、伊江島の老人ホーム「いえしま」をハロウィーンの仮装をして訪問しました。隊員の中にはドラキュラやスーパーマンなど様々なコスチュームを着て訪問し、お年寄りへ楽しい衣装を見せて紹介しました。また、入所しているお年寄りには靴下のセットを、デイサービスを利用されているお年寄りにはバナナケーキを贈りました。数名の隊員は習ったエイサーを披露し、そのエイサーに合わせてお年寄りも踊りに加わったりと楽しく触れ合う時間を過ごしました。当日は同中隊司令官のディカーソン中佐、上層部にあたる第18任務支援群司令官のコンスタンティーン大佐も隊員と共に訪問しました。



18 LRS VISIT IESHIMA!



HALLOWEEN

嘉手納ハロウィーンイベント

第18航空団広報局



Trick or Treat!
Trick or Treat!



(指定以外の写真提供：第390情報中隊)

(米空軍：レイ・ラモニー等軍曹撮影)

嘉手納基地では毎年ハロウィーンのイベントとして、子供達が思い思いのコスチュームに身を包み「Trick or Treat!」（お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ！）と家々を尋ねて周るイベントが催されます。

10月に第390情報中隊が、浦添市のある母子寮へ日用品を寄贈したのをきっかけに引き続き母子寮と交流を持ちたいと、子供達をハロウィーンパーティに招待しました。

まず初めに情報中隊のラウンジで、お互いのコスチュームに笑いながらも、ピザディナーでお腹を膨らませて、さあ出陣です。コスチュームはそれぞれ、スターウォーズのキャラクターからゴリラ、忍者、サムライなど様々で、大きなバッグを片手に嘉手納基地の住宅街を周りました。

第390情報中隊のウィルカーソン軍曹によると、前日までの台風の影響か、例年よりもハロウィーンに参加する家々が少なく感じたそうですが、それでも子供達は沢山のキヤンディーをバックに詰めて、「見て！こんなに貰ったよ！」とお互いにバックの中身を覗き込んで喜んでいました。母子寮に戻った後も、とても楽しかったと話していたそうです。バックの中にはキヤンディーだけでなく、楽しい思い出も一緒に詰めて帰っていました。

*プライバシー保護の為、写真の一部に処理加工してあります。





第390情報中隊から浦和寮へ日用品の贈呈

第18航空団広報局



去る10月12日、第390情報中隊のエンジエル・ウィルカーソン2等軍曹と、アマンダ・ストッパー兵長は、沢山の日用品を車に詰め込み、浦添市にある母子寮、浦和寮へと向かいました。ウィルカーソン2等軍曹は、以前に同部隊で行なわれた浦和寮への寄付活動を知り、再度浦和寮への寄付活動を行ないたいと、同部隊の隊員へ呼び掛けたのです。ウィルカーソン2等軍曹は、日々の生活でどの様な日用品が必要とされているかを事前に問い合わせを行い、当日は、シャンプー、リンス、ボディーソープ、洗濯洗剤や子供達のおもちゃなど、多くの日用品を届けました。

「私自身が母親であり、夫が留守中に一人で家事をこなすのはとても大変だと身にしみています。母子家庭の方々の為に少しでも役に立てるのであれば、こんな嬉しい事はありません。」とウィルカーソン2等軍曹は話してくれました。又、ストッパー兵長も「母子寮への寄付活動に参加できて大変嬉しく思っています。今日はとても喜んでもらえたので嬉しいです。」と話してくれました。

彼女達は、シャンプーや洗剤など、英語でかかれたそれぞれの品々に対して、一つ一つ丁寧に説明をした後は、浦和寮に施設のしくみなどについて質問し、熱心に聞き入っていました。浦和寮の當間郁子施設長は「必要な日用品をこんなにも寄付していただき、また、嘉手納基地の皆様には何度も寄付をしていただいた他、様々なイベントにご招待して頂き、本当に感謝しています。」とお礼を述べました。この日、ウィルカーソン2等軍曹は、浦和寮の子供達を嘉手納基地で行なわれるハロウィーンイベントに招待したい旨話しました。「昨年も第390情報中隊にご招待いただき、子供達は大変喜んでいました。また今年も招待されたと知ったら子供達はきっと大喜びするでしょう。ありがとうございます。」と、當間施設長は重ねて感謝の言葉を述べていました。10月末に嘉手納基地で行なわれるハロウィーンイベントには、コスチュームに身を包んだ浦和寮の子供達の笑顔を見る事ができるでしょう。

(写真全て、嘉手納基地広報局写真部：金城順子撮影)

